

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和3年度)

施設の名称	宮城県障害者福祉センター
指定管理者の名称	社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会
施設所管部課(室)	保健福祉部障害福祉課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成21年4月 ~ 平成26年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会	
平成26年4月 ~ 平成31年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会	
平成31年4月 ~ 令和 6年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会
	所在地	仙台市宮城野区幸町4丁目6-2
指 定 期 間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県障害者福祉センター	
所 在 地	仙台市宮城野区幸町4丁目6-2	
設 置 年 月	昭和58年4月	
根 拠 条 例 等	障害者福祉センター条例	
設 置 目 的	障害者に関する各種の相談に応じ、障害者に対し必要な便宜を供与するとともに、障害者の福祉に関する研修、ボランティア養成等を行い、障害者の総合的な福祉の増進を図るため。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	23,102.57㎡
	構 造	鉄筋コンクリート造3階建
内 容	事務室、ロビー、展示室、相談室、図書閲覧室、機械室、管理人室、湯沸室、トイレ(男女、多目的)、日常生活訓練室、宿泊室、談話室、食堂、配膳室、浴室、リネン室、社会適応訓練室、介助技術訓練室、会議室(大中小)、倉庫など	
開 館 (所) 日	日～土曜(火曜、祝日、年末年始除く)	
開 館 (所) 時 間	午前9時00分 ~ 午後9時00分	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの設置目的に即した業務(施設の提供、相談及び研修など) ・施設全体の管理運営業務(運営推進委員会、利用者懇談会) ・施設の使用許可申請の受付及び許可業務 ・機械設備の操作及び日常点検業務 ・施設全体の維持管理業務(清掃及び保守点検等) ・施設の亡失等の届出受理及び報告業務 	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前年度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
開館(所)日数	290 日	246 日	246 日	84.8%	100.0%
延べ利用者数	12,000 人	11,020 人	10,688 人	89.1%	97.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前年度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
各種事業参加者	900 人	885 人	886 人	98.4%	100.1%
自主事業参加者	700 人	766 人	807 人	115.3%	105.4%
その他施設利用者	10,400 人	9,369 人	8,995 人	86.5%	96.0%
合 計	12,000 人	11,020 人	10,688 人	89.1%	97.0%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前年度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
県指定管理料	46,820	46,803	46,820	100.0%	100.0%
利用料金収入	407	52	57	14.0%	109.6%
その他	353	433	139	39.4%	32.1%
収入計 (a)	47,580	47,288	47,016	98.8%	99.4%

(2) 支出

人件費	31,580	32,554	32,038	101.5%	98.4%
施設管理費	7,208	8,110	8,109	112.5%	100.0%
事業運営費	8,307	6,000	5,880	70.8%	98.0%
その他	485	1,305	872	179.8%	66.8%
支出計 (b)	47,580	47,969	46,899	98.6%	97.8%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-681	117	#DIV/0!	-17.2%
前期繰越収支差額	0	1,085	404	#DIV/0!	37.2%
次期繰越収支差額	0	404	521	#DIV/0!	129.0%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

自主事業収支実績

(単位:千円, %)

(1) 収入

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (2021年度) (A)	前 年 度 (2020年度) (B)	評価対象年度 (2021年度) (C)		
寄付金	0		0	0.0%	0.0%
自主財源	100		100	100.0%	#DIV/0!
収入計 (a)	100		100	100.0%	#DIV/0!

(2) 支出

事業費	100		100	100.0%	#DIV/0!
支出計 (b)	100		100	100.0%	#DIV/0!

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0		0	0.0%	0.0%

6. 評価対象年度(令和3年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
				評価		評価
①管理運営体制	<p>正規職員7名(うち3名が体育センター勤務を兼ねる),非正規職員1名 研修会派遣実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーのためのコーチング研修 ・卓球バレー指導者養成講習会 ・甲種防火管理講習会 ・福祉教育学習会 ・アーチル基礎講座 ・クレーム対応研修 ・障害のある人を支援する防災研修会 ・心のバリアフリー研修会 	<p>・福祉センターと体育センターの職員間の連携と協力を強化し,少人数時の事務所管理等をカバーしながら貸館業務・事業実施等を滞りなくおこないました。</p> <p>・職員研修ではオンライン研修も活用し,職員の資質向上,福祉情勢の情報収集に努めました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策など,利用者の安全安心を最優先に対応しました。</p> <p>・利用者個人の障害状況等に応じた適切なコミュニケーション対応を心がけました。</p>	A	<p>必要最低限の職員配置で,兼務職員との情報共有も密に行いながら,施設の管理運営を適切に実施していた。</p> <p>また,職員研修については,オンラインのものも上手く活用しており,積極的な職員の資質向上に努めていた。</p>	A	
人員体制	正規 7人	非正規 1人				
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>昭和58年の開所であり,施設・設備等随所に老朽化が見られるので,事業計画に基づき,設備保守管理業者並びに器具類取り扱い業者と緊密に連絡を取り保守点検,修理等を実施しました。</p>	<p>・職員及び利用者への節電・節水への意識を喚起し,経費節減を図り効率的な施設運営に努めました。</p> <p>・職員による日々の館内巡視や業者による施設・設備の定期的な点検をおこなうことで,安全第一での施設管理に努めました。</p> <p>・防災備品の在庫に留意し,緊急時の備えを整備しました。</p> <p>・消防署の予防査察の指摘事項に対処し,地下貯蔵タンク監視装置の設置を完了しました。</p>	A	<p>施設の老朽化が進行し,地震等の自然災害も多発する中,利用者の安心・安全を第一に考え,日々の点検等を適切に実施したことで施設・設備の機能をしっかりと維持できていた。</p> <p>また,指摘事項への対応も適切に取られていた。</p>	A	
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>業務仕様書に基づき業務を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①相談事業 ②研修事業 ③日常生活支援事業 ④カルスポ(カルチャー・スポーツ)・交流事業 ⑤広報・啓発事業 ⑥施設の便宜提供 ⑦サービスの向上に係る取り組み ⑧環境配慮の取り組み 	<p>・各種事業・教室の中にはコロナ禍の影響を受け,中止や延期の判断をせざるを得なかった状況もありましたが,2大イベントである「ダンスパラダイス」や「センター文化祭」は感染防止対策を徹底した上で実施することができました。</p>	A	<p>前年度に引き続き,新型コロナウイルス感染症の影響により,やむを得ず中止した事業もあったが,適切な感染症対策を講じながらおおむね事業計画どおりに実施できていた。</p>	A	
④自主事業の実施	<p>・出前教室 地域との交流や障害への理解促進,福祉センター事業のPRの場として実施(依頼件数:30回延べ807名参加)</p> <p>・ロビーパフォーマンス「スポットライトひろば」 ロビー展示スペースを,センター利用団体や教室関係者の活動発表の場として提供し作品展を実施(利用団体:8団体)</p>	<p>・出前教室の派遣実績がコロナ禍前まで回復しています。東京オリパラの影響もあり,障害者スポーツの依頼も多くみられました。また,障がい当事者を招いての交流を通じて障がいへの理解と認識を深めることができました。</p> <p>・「スポットライトひろば」においては,利用団体の日頃の活動の成果を発表する場として利用していただき,団体活動の活性化の一助となれるよう展示の工夫をおこないました。</p>	S	<p>新型コロナウイルス感染症の影響がある一方で,パラリンピックを契機とした障害者スポーツの盛り上がりもあり,出前教室の件数が増加したが,適切な感染症対策を講じつつ,要望に応じた内容の教室をしっかりと実施することができていた。</p>	A	
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会の開催 ・利用団体アンケートの実施 ・物品の無料貸し出し ・ロビーの開放,展示スペースの提供 ・定期利用団体への貸出ロッカーの提供 ・部屋の使用前後の清掃と消毒の徹底 ・利用促進のためのPRチラシの発行 ・入り口,トイレに音声案内の設置 ・ホームページおよびTwitterの運営 	<p>・視覚障がいの方へ向けた音声案内機の増設や駐車場の車椅子表示の改修など,利用者からいただいた意見や要望を把握し,センター運営に反映させました。</p> <p>・利用者の方がより予約しやすく,利用への問い合わせがスムーズにできるよう,HP上に6か月先までの宿泊室や会議室等の空き状況を閲覧できるようにし,利用促進に努めました。</p>	A	<p>施設利用者の要望等への対応が迅速になされており,利用者目線に立ったサービス向上の取組が行われていた。</p> <p>特に,視覚障害者のための音声案内機の増設については,他の指定管理施設である障害者総合体育センターへの要望であったにもかかわらず,必要性を自ら判断し,指定管理費の範囲内で対応を行っており,特に評価できる。</p>	S	
⑥利用者の苦情,要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決委員会の設置(受付0件) ・虐待防止委員会の設置(受付0件) ・意見箱の設置(受付0件) 	<p>・意見等への対応については,ロビーに掲示し,広く周知しました。</p> <p>・上記⑤の利用者アンケートの結果ではセンター利用者の満足度・職員の対応・実施事業や接客対応についても,概ね良好な結果となっています。</p>	A	<p>利用者に対する真摯な対応が徹底されており,その結果が年間を通しての苦情が0件であったことにも表れている。</p>	A	
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の交通整理,誘導の徹底 ・点字ブロック上の安全確保(車両移動) ・消防用設備点検 ・避難訓練の実施 ・トイレ等呼び出しブザー等の作動確認 ・AED,熱中症応急キットの設置 ・新型コロナウイルス感染症,ノロウイルスなどの感染症対策 	<p>・利用者が安心してご利用いただけるよう敷地内動線の安全確保に努めました。また,日頃からの設備点検や避難訓練の実施など,職員間で検証と情報共有をおこない安全対策の徹底に取り組みました。地震の際にも,迅速な安全確認と被害状況の確認,情報提供等に対応することができました。</p>	S	<p>多発する自然災害への備えとして,設備点検や避難訓練等を適切に実施していた。</p> <p>また,熱中症や新型コロナウイルス感染症対策についても,慣れによって形骸化することなく継続した取組が行われていた。</p>	S	
⑧県民の平等利用	<p>部屋の申込受付 ※申込の公平性を保つため,利用の6か月前の毎月1日からの受け付けとし,毎月1日については予約専用ダイヤルにて1団体(または個人)1件までの予約を受け付ける方法を実施。</p>	<p>・優先予約受付日においては,ルール遵守に努め,公平性を徹底しました。</p>	A	<p>会議室等の予約受付に関しては,公平性が保たれるようにルール化した方法が取られており,苦情もなく適切に運用されている。</p>	A	

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	・事業で知り得た個人情報については取り扱いに十分に注意し、適正な管理をおこないました。	・特に問題はありませんでした。	A	個人情報の保管及び廃棄に関するルールが職員間でしっかり共有されており、適切な管理がなされていた。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部の休館措置や開館時間の短縮、各部屋の利用人数の制限により、利用人数はわずかながら減少しました。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用実績は伸び悩んだものの、HP上で予約の空き状況を確認できるようにする等の工夫も見られ、利用者の増加に向けた積極的な取組を行っていた。	A
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり。	・支出面においては事業運営に支障が出ない範囲での節約を実施しました。	A	燃料費の高騰や点検結果に基づいて対応が必要となった施設・設備の修繕等によって施設管理費が増加する中、事業の運営等の工夫により健全な経営状況を維持することができていた。	A
⑫その他の取組	・虐待防止の取組み ・地域、住民関係機関との連携 ・環境配慮への取組み ・優先調達の推進	・虐待はありませんでした。 ・各種教室では障がいの有無を問わず参加者の募集を図り地域の方と障がいのある方の楽しい交流が見られました。 ・宮城県「わが社のe行動宣言」に基づきサイクルや環境に配慮した行動に努めました。 ・障害者就労施設等からの物品や役務等の優先調達を積極的におこないました。	A	節電及び節水や資料印刷時の裏紙利用等の様々な環境に配慮した取組が職員間で継続して実施されていた。また、張り紙等によって、施設利用者への呼び掛けも十分に実施されていた。 優先調達についても、事業計画に基づく意識的な取組が見られた。今後も調達先の切り替え等も検討しながら、積極的に推進してほしい。	A
総合評価		・コロナ禍でも利用者が安心して施設の利用や各事業へ参加できるよう、職員が一丸となり感染症対策の徹底に努めました。 ・障がいのある方のアート活動や余暇活動の充実を求める声も多くあり、各事業を展開する中で、関係機関と連携をとりながらその実現に向けてのきっかけづくりに力を入れました。 ・利用者アンケートの集約を通して、利用者からのご要望やご意見にはできる限りの改善を図り、利用者の視点に立って支援の充実や施設運営に取り組みました。	A	新型コロナウイルス感染症の影響が続いた1年間ではあったが、HP上で予約の空き状況を確認できるようにする等の新たな工夫も凝らしながら、年間をとらして、適切な施設の管理運営が行われていた。 感染症対策についても、慣れによって形骸化することなく継続して徹底した取組が行われていた。 また、施設の保守点検や修繕、災害時等の緊急的な対応も適切に実施されていた。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	・今後も新型コロナウイルス感染対策を油断なく継続し、安心して利用や事業参加ができるよう安全に配慮した施設運営に努めます。 ・周知方法のさらなる工夫や関係機関との連携を図り障がいのある方の社会参加の拠点および、ユニバーサルな社会資源としての役割や活用方法を広く地域・県民の皆様に発信し利用の促進に努めます。老朽化による突発的な施設・設備の各種修繕が懸念され、点検等の強化を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響がイベントの中止や規模縮小にとどまらず、燃料費等の物価上昇にも及んでおり、施設の老朽化による修繕費の増額と相まって負担となっていることから、引き続き節約を心掛けた効率的な管理運営が求められる。